

2019年11月23日 ~ 2019年11月29日

2019年12月3日

先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドルで小幅に下落しました。対円では小幅に上昇しました。トルコの2年国債金利は小幅に上昇しました。

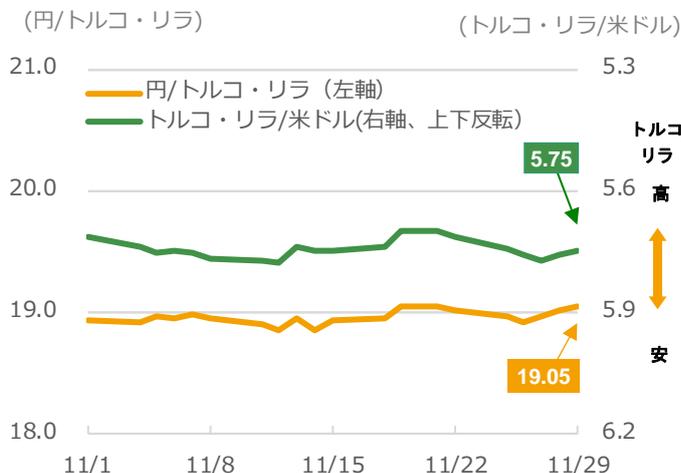
先週は、週前半はトルコがロシアから購入したミサイル防衛システムのレーダー実験を開始すると発表したことで、欧米から経済制裁が課される可能性が懸念され、トルコ・リラは下落しました。しかしその後は値を戻し、米国の感謝祭による休場で流動性が低下した背景もあり、一週間では小動きとなりました。

今週の見通し

今週は月曜日にトルコの7-9月期のGDP（国内総生産）が発表されましたが、市場予想より軟調な結果となりました。政治イベントでは、12月3日から4日（英国時間）にかけてNATO（北大西洋条約機構）の首脳会議が予定されており、トルコがロシアから購入したミサイル防衛システムおよびレーダー実験に関して議論されるとみられています。今週のトルコ・リラは、NATO首脳会議に関連する報道に警戒しつつ、引き続き上値の重い展開になると想定しています。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年11月1日~2019年11月29日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年11月1日~2019年11月29日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。